

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	「みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ管理運営業務」	
事業の実施者	団体等	公益財団法人 横浜市国際交流協会
	行政	横浜市南区役所
事業の目的	市民活動、生涯学習活動及びボランティア活動（以下「市民公益活動等」という。）並びに外国人市民、外国人コミュニティ及び国際交流機関の支援（以下「多文化共生事業等」という。）を通して、市民の理解と参画のもとに、市民力の向上と豊かな地域、異なる文化や生活習慣への理解を深める交流の拠点づくりを図る。	
事業の内容	ア ラウンジの管理運営に関すること イ ラウンジの事業に関すること ウ 事業改善に関すること エ その他ラウンジの管理運営等にあたり必要となる事務事業に関すること	
役割及び責任分担等	契約書のとおり	
実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日	

記入日	令和 4 年 4 月 8 日
記入者	・団体等名： 公益財団法人 横浜市国際交流協会 ・記入責任者 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ館長 氏名： 込宮 紀子 連絡先： 232-9544
	・部署名： 南区役所地域振興課 ・記入責任者 地域振興課長 氏名： 斎藤 昌代 連絡先： 341-1238

事業評価相互検証シート

事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

みなみラウンジと区役所の間で、ラウンジ定例会、まるごとみなみ定例会を実施。個別の事業の目的・内容について共有できたが、一部認識に違いがあることもあった。

【今後改善が必要と思われること】

業務全般や個別の事業については、今後も課題等の共有を行っていく。また、みなみラウンジ運営の背景にある中・長期的な目標や計画を共有することも必要と思われる。

事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

みなみラウンジの事業に区役所職員が参加しているものは、具体的な実施状況・雰囲気は共有できた。職員が参加できなかった事業についても報告書等を通して、共有しているが、雰囲気等が伝わりにくいので、工夫が必要と感じた。

【今後改善が必要と思われること】

今後、インバウンドの増加等により国際交流や多文化共生事業の重要性が高まることから、それらの関連事業について、より一層、共有を深めていく必要がある。

事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・市民団体が運営する日本語教室や施設間連携事業、日本語ボランティア養成講座等に、積極的に ICT を取り入れ、南区での「新しい生活様式」の推進を図った。
- ・試みに、みなみラウンジの「利用者のつどい」で、オンライン参加と来館参加のハイブリッドで開催した。コロナ禍での会議や講座の新しい開催手法として、みなみラウンジと区役所で共有できた。
- ・施設間連携事業で、動画講座を行い、施設や市民活動の紹介方法の一つとして提案した。各施設からは、職員等のスキルアップにつながったと好評だった。また、次年度の施設間連携事業の参考になった。
- ・コロナ禍でも外国籍等青少年交流支援事業の広がりを保つために、南区の青少年地域活動拠点との連携を行った。

自由記入欄

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジは、市民活動支援、多文化共生推進を目的に持つ施設で、同様の形態は市内にはない。2つの目的を持つ施設として、運用等は難しいが、それぞれの事業を結びつける等、相乗効果を発揮できるようにみなみラウンジと区役所で協働して進めたい。